

宮古空港

MIYAKO AIRPORT

宮古空港管理事務所
住所：宮古島市平良字下里1657-128
電話：0980-72-4127

AIRPORT of OKINAWA

■空港の概況

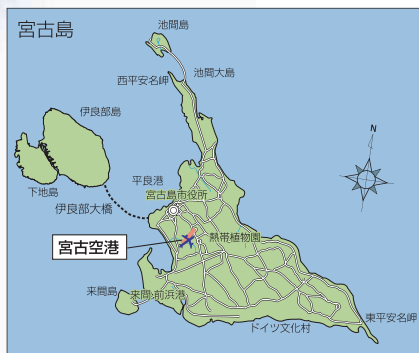
宮古空港は、昭和18年6月旧日本軍により海軍飛行場として建設された。昭和31年6月から民間航空による定期運航が開始され、その後、滑走路及びエプロン等の整備がなされ、昭和43年YS-11型機が就航した。

昭和47年度から航空法に基づく拡張整備等を行い、昭和50年3月滑走路1,500mで供用開始した。その後、航空需要の増大や機材の大型化に対応するため、滑走路及び航空保安施設等を整備し、昭和53年12月暫定ジェット化空港として供用開始した。

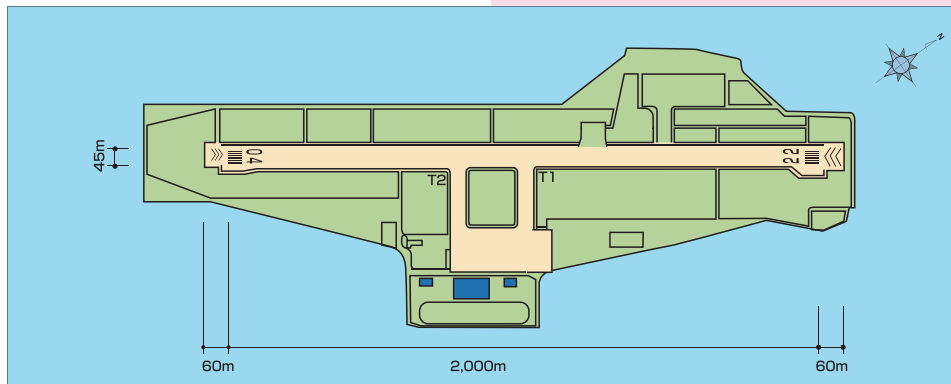
また、昭和54年度から滑走路2,000mの空港拡張整備事業に着手し、昭和58年7月供用開始した。さらに平成4年度から航空需要の増大と機材の大型化に適切に対応するため、ターミナル地区を西側から東側へ移転する拡張整備事業に着手し、平成9年7月供用開始した。

平成13年6月には混雑解消のため誘導路を増設し、現在2本の誘導路で供用している。

■位置図



■平面図



▲ターミナルビル

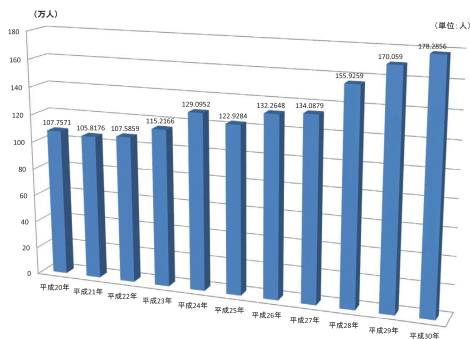
■貨物量の推移



※平成19年度10月以降、郵政民営化に伴う郵政法改正により小包郵便及び速達郵便は貨物扱いとなった。

■航空輸送実績

旅客数の推移



■路線別就航状況

(令和2年1月現在)

路線	航空会社	就航機種	便数(日)	所要時間
那覇	ANA	B-737	5	50~55分
	JTA	B-737	8	45分~50分
石垣	RAC	DHC-8	1	50分
	RAC	DHC-8	2	35分
多良間	RAC	DHC-8	2	25分
東京	JTA-ANA	B-737	2	2時間25分
大阪	ANA	B-737	1	2時間
名古屋	ANA	B-737	1	2時間10分

■市町村概況

行政区	人口(人) (H30.1.1現在)	世帯数(世帯) (H30.1.1現在)	面積(km ²) (H30.10.1現在)
宮古島市	54,442	26,304	204.27

■沿革

- S.18. 6 旧日本軍により海軍飛行場として建設
- S.31. 6.16 民間航空機運航開始
- S.47.11.14 飛行場現況届告示 (R/W1,500m)
- S.48 1.25 宮古空港設置許可 (R/W1,500m、設置者：沖縄県)
- S.48. 2.27 第三種空港に政令指定
- S.50. 3. 1 供用開始 (R/W1,500m)
- S.52. 6. 2 施設変更 (R/W強度8.5t→18.3t) 許可
- S.53.12. 1 供用開始 (R/W強度18.3t (ジェット化))
- S.54.12.17 施設変更 (R/W1,500m→2,000m) 許可
- S.58. 7. 1 供用開始 (R/W2,000m)
- H. 2. 3.26 施設変更 (R/W強度18.3t→31.5t) 許可
- H. 4. 5.28 供用開始 (R/W強度31.5t (Mジェット対応))
- H. 5. 6.24 施設変更 (誘導路・エプロン拡張等) 許可
- H. 9. 7.17 供用開始 (新ターミナル地区)
- H.11. 9.27 施設変更 (誘導路増設) 許可
- H.13. 6.14 供用開始 (誘導路増設)
- H.20. 6.18 地方管理空港に政令指定 (法改正に伴う)
- H.22. 8. 2 駐車場有料化
- R. 2. 4.23 供用開始予定 (エプロン拡張)

■空港諸元

項目	概要
種別	地方管理空港
設置管理者	沖縄県
所在地	宮古島市
標点位置	北緯24°46'58" 東経125°17'42"
標高	42.62m
空港面積	1,208,819m ²
着陸帯	2,120m×300m C級
滑走路	2,000m×45m LA-12 N38°18'21"E：真方位
誘導路	460m×30m
エプロン	29,590m ² 航空機コードD 2/バス、航空機コードC 2/バス、航空機コードD(プロペラ機)1/バス (R2.6.18供用開始予定)
航空灯火	飛行場灯台、進入灯、進入角指示灯、誘導路灯、滑走路中心線灯、誘導路灯、風向灯、設置灯等
航行援助施設	VORTAC、ILS
駐車場	37,600m ² 406台
Tビル面積	10,946.61m ²
運用時間	08:00~21:00 (13時間)